



特集  
 ●LOH症候群 ●フットケア外来  
 ●骨粗鬆症 ●腰部脊柱管狭窄症  
 ●うつ状態 ●急増する現代社会  
 ニューロロハビリテーション

暮らしと健康の月刊誌ケア 2018年2月号掲載より



## 片付けのアイデア帖 第23回 「使いやすい収納のポイント」

引き出し、棚、扉付き収納、カゴなど収納用品にはさまざまなものがあります。収納用品にモノを入れるときのポイントをまとめます。

【記事監修】おうちスタイリスト® 米村 大子

整理収納メールマガジン

週刊 **ダイコ**

毎週火曜配信



例えば、文房具をまとめたら、よく使う“スタメン”たちは手前に、ストックやたまに使うものは後ろ側に置きます。チャック付き袋が分類便利

教えてくれたのは...  
 整理収納アドバイザー  
 米村 大子さん  
 おうちスタイル札幌 代表 / 整理収納アドバイザー1級・宅地建物取引士  
 お片づけレッスンや終活講座、企業・個人宅での整理収納サービス、高齢者の住替えのアドバイスや整理収納サービスなどを手掛ける「おうちスタイル®」として国内外で活躍中。

自分のものを整理するときの基準は4つに分類されます。①「よく使う／気に入っている」②「よく使う／気に入らない」③「あまり使わない／気に入っている」④「あまり使わない／気に入らない」。あまり使わないものは処分の対象になりますが、困るのはよく使うけど好きじゃないものや、使わないけど理由や気に入らない理由を考えると、人に譲ったり、リサイクルすることも検討しましょう。お気に入りのものをいつも使えると気分がいいですね。

もの分類は4種類  
 5つもお気に入りを手元

「この収納用品使えそう！でも、どう使うのが正解かしら？」と思ったことはありませんか？使い方の基本はすぐに手が届く位置によく使うものを入れることです。引き出しや奥行きのある棚なら手前に、扉付きなら扉が開く方向に、棚なら一番届きやすい段によく使うものを入れます。反対に使用頻度の低いものは手が届きにくい位置でもOK。また重くて大きいものは下に、軽いものは上に配置するともの出し入れが楽になります。季節ごとに登場するものは入れ替えをしやすくまとめておくと良いですよ。

大人には使いにくい下の段の棚も子どもには使いやすい棚となります。子どものものを子どもが使いやすい位置に配置することで子どものお手伝いや片づけのきっかけづくりにも役立ちます。収納を上手に使ってスッキリ過ごしましょう。

基本は「よく使うもの」を「手元」に置く